SSH 生物（4 月 16 日）戸山公園の植生調査

春になり、冬の間休眠していた植物が花を咲かせたり、葉を開いたりして活動し始めました。身近な環境において、同一条件の地点で群落の方形調査(被度)・生育形調査(型、高さ)を行い、植生を調査する力を身につる目的で行いました。さらに数値処理し、積算優先度(SDR)を算出します。

戸山公園は小規模ではありますが、都会でありながら草本・樹木が多くある公園です。地形や日当たりの影響を考慮し、草本類を中心とした地点に測定枠を設定して、その分布の特徴を考えます。

調査の方法

方形枠（コドラート）法による調査　→　レポート提出は 5 月 14 日

ナズナ

シロツメクサと四つ葉

ヒルザキツキミソウ